

Live Board

LIVE BOARD が「デジタルサイネージ ジャパン (DSJ) 2026」に登壇！

「デジタル予算」を呼び込む、OOHの新・販売戦略
～OOH メジャメントの標準化が、プログラマティック OOH の普及を加速させる～

The banner features a blue and white digital-themed background with a grid of numbers. At the top right, the 'Live Board' logo is visible. The main headline reads: 「デジタル予算」を呼び込む OOHの新・販売戦略. Below this, a sub-headline states: OOHメジャメントの標準化が、プログラマティックOOHの普及を加速させる. Three speakers are featured in white-bordered frames: 新里 隆成 (Client Service Dept), 山本 葉 (Client Service Dept), and 鏡 詩織 (Strategy Dept). At the bottom, event details are provided: DSJ2026 デジタルサイネージジャパン, 開催場所: 幕張メッセ 展示会場内N(8S32), and 開催日時: 6.11(水) 16:05-16:45.

株式会社 LIVE BOARD（本社：東京都渋谷区 代表取締役社長 田中 淳泰 以下、LIVE BOARD）は、2026年6月10日（水）～12日（金）に幕張メッセで開催される「デジタルサイネージ ジャパン（DSJ）2026」にて、専門セミナーに登壇いたします。

■ 登壇内容

「デジタル予算」を呼び込む、OOHの新・販売戦略

～OOH メジャメントの標準化が、プログラマティック DOOH の普及を加速させる～

現在、日本の OOH 市場は一般社団法人 日本 OOH メジャメント協会（JOAA）による OOH 広告の共通メジャメント指標の導入により、大きな転換期を迎えています。本講演では、この変化を単なる「共通指標の導入」ではなく、OOH がデジタル広告と同様の「運用型商品」へと進化するための最大の好機と定義します。日本で初めてインプレッションベースでの OOH 広告取引を確立した LIVE BOARD がこれまでの知見と、日々バイヤーと向き合う現場のリアルな声に基づき、デジタル予算を呼び込む、OOH の新・販売戦略について解説します。既存の販売手法に留まらず、自社の在庫価値をいかに定義し、収益を最大化させるべきか。プログラマティック DOOH の活用がもたらす媒体価値の再定義と、デジタル予算獲得への具体策を提示します。

日時：2026年6月11日(木) 16:05~16:45

場所：幕張メッセ 展示会場内 N (8S32)

登壇者：

- ・株式会社 LIVE BOARD クライアントサービス部 リーダー 山本 栞
- ・株式会社 LIVE BOARD クライアントサービス部 新里 隆成
- ・株式会社 LIVE BOARD ストラテジー部 広報 鏡 詩織

[デジタルサイネージ ジャパン \(DSJ\) 2026 講演ページ](#)

■ブース出展

開催期間中、株式会社 NTT ドコモ（以下、ドコモ）のブースにて、ドコモと LIVE BOARD で共同技術開発した、DOOH 広告主審査業務を効率化する AI 技術についてご紹介いたします。LIVE BOARD 社員もブースでご説明いたしますので、ぜひお立ち寄りください。

場所：8T29

参考：[責任ある判断を、より速く。AI で DOOH 広告審査業務を効率化する LIVE BOARD×ドコモの挑戦](#)（ホワイトペーパー）

■デジタルサイネージ ジャパン (DSJ) 2026

街中のメディアとして多様な役割を果たす「デジタルサイネージ」にフォーカスし、デジタルサイネージの最新技術とその活用方法をご覧ください。本イベントでは、デジタルサイネージ産業の課題解決と新市場の創出、あらゆるビジネスシーンにおけるサイネージの利活用事例をご紹介します。

日程：2026年6月10日(水)~6月12日(金)

場所：幕張メッセ（国際展示場 展示ホール 3~8/国際会議場）

同時開催：

Interop Tokyo 2026

AI NATIVE EXPO 2026

画像認識 AI Expo 2026

■株式会社 LIVE BOARD

データドリブンにターゲティングや効果検証を実現するデジタル OOH アドネットワークオペレーター

OOH 領域において国内で初めてインプレッション（VAC）※に基づく配信を実現。コロナ禍のような人流変化が起こりやすい状況下でも、"そのとき、その場所で、その広告を"見ると仮定される人数をもとに、限りなく実態に即した広告配信および課金体系を展開。加えて、屋外・屋内、電車内、駅構内など日本全国の多様なデジタル OOH を束ねた独自ネットワークに国内最大級キャリアのビッグデータを掛け合わせることで、性・年代別によるターゲティングな



ど、従来の OOH では難しかった"ヒト"基点による配信を可能にしました。

※ LIVE BOARD は、OOH グローバルメジャメントガイドラインにて推奨されている、視認調査に基づく視認率を加味したインプレッション（VAC=Visibility Adjusted Contact / のべ広告視認者数）を採用しています。媒体の視認エリアの中にいる人数（OTS=Opportunity to See）のうち、OOH 広告に接触する可能性のあるべ人数（OTC=Opportunity to Contact / 視認エリア内での移動方向や障害物の有無を考慮）を定義。この数に媒体に応じた視認率を加味することで、実際に広告を見るであろうべ人数（VAC）を推計しています。

会社名	株式会社 LIVE BOARD
代表者	代表取締役社長 田中 淳泰
所在地	東京都渋谷区神宮前 3-1-30 Daiwa 青山ビル7階
設立日	2019年2月1日
事業内容	デジタル OOH 広告配信プラットフォームの運営、デジタル OOH 広告媒体の開拓、デジタル OOH 広告枠の販売
ホームページ	https://www.liveboard.co.jp

<本リリースに関するお問合せ先>

LIVE BOARD 広報事務局 担当：加藤・鏡

TEL : 090-3050-8873 / 03-5843-0932 E-mail : info_press@liveboard.co.jp